

第16回「中国地区GHP研究会」開催のお知らせ

謹啓

秋の気配が感じられる毎日ではございますが、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第16回の研究会は、「高齢者のうつ病」をメインテーマとして開催する運びとなりました。

特別講演は、順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院 メンタルクリニック准教授の馬場元先生にお願いしております。先生は老年期うつ病の専門外来を実践されており、高齢者うつ病と認知症との関連や薬物療法などについて興味深いお話がきけるものと思います。

ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：平成27年10月10日(土) 16:00～19:00

場所：ホテルチューリッヒ東方2001 <http://www.b-mozart.co.jp/hotel/>

参加費(予定)：1名につき1000円(当日受付にて徴収させていただきます)

【一般演題1】 16:00-16:40 発表15分 ディスカッション5分

座長：川崎医科大学附属川崎病院 心療科 石原武士先生

1. 「抑うつ症状を認め、MIBG心筋シンチグラフィ集積低下を呈する高齢患者の臨床的特徴」

広島市立広島市民病院 精神科 竹之下慎太郎先生

2. 「診断に苦慮した高齢うつ病の一例」

広島大学病院 精神科 増田結香先生

【一般演題2】 16:40-17:40 発表15分 ディスカッション5分

座長：広島市立安佐市民病院 精神科 日笠 哲先生

3. 「4度の自殺企図後に精神科への入院に至った老年期うつ病の1例」

島根大学医学部附属病院 精神科神経科 長濱道治先生

4. 「抗認知症薬が有効だった老年期うつ病の一例」

県立広島病院 精神科 高畑紳一先生

5. 「抗うつ薬で増悪した妄想に電気痙攣療法が著効した高齢発症うつ病の一例」

山口大学病院 精神科神経科 佐々木順先生

<コーヒーブレイク> 17:40-18:00

【特別講演】 18:00-19:00

座長 国立病院機構呉医療センター 精神科・臨床研究部 竹林 実先生

『高齢者のうつ病-臨床に役立つエビデンス-』

順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院 メンタルクリニック
准教授 馬場 元 先生

共催：中国地区GHP研究会

顧問 山脇成人 (広島大学大学院・精神神経医学)

山田了士 (岡山大学大学院・精神神経病態学)

代表世話人 和田 健 (広島市立広島市民病院・精神科)

当番世話人 日笠 哲 (広島市立安佐市民病院・精神科)

Meiji Seika ファルマ株式会社